

地域の子供達を見守りましょう!



新年度を迎えました。

子供達は、新しい気持ちで元気いっぱいに登下校をしています。

この時期は、特に、小学校1年生は慣れない通学路に登下校するため、交通事故などに遭いやすいと言われています。温かい目で見守りましょう。

また声かけ事案にも注意が必要です。

声かけ事案の多くは、下校中の小学生を対象に発生しています。

悪さをする者は「人の目」を嫌がります。

そこで、皆さんが「地域の目」となって子供達を見守りましょう。



子供の見守り活動紹介と警察からのお願い

① 通学路での見守り活動をお願いします。

通学路上にある危険な場所(ホットスポット)を確認しましょう。「入りやすく見えにくい場所」に注意を!

メリット

必ずしも巡回は必要ではありません。

見守り活動は目立つ服装で、「ホットスポット」にたたずむだけで効果があります。



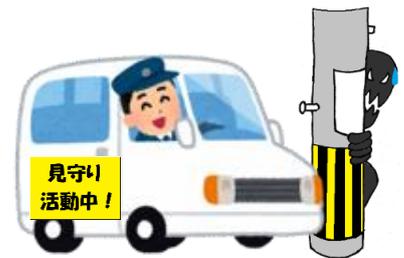
② 「ながら見守り」をお願いします。

仕事をしながら、犬の散歩しながら、地域の子供達に目を向ける活動です。

メリット

いつでも・どこでも・誰にでも出来ます。

ひとりひとりの活動が大きな防犯力となります。



③ 「こども連絡所」の登録をお願いします。

こども連絡所は、子供達が緊急時に避難する場所です。

メリット

「こまったときはいつでもおいで!」のこども連絡所がたくさんあれば、防犯意識の高い地域となります。

登録先は地域によって違います。殆どの場合、小学校やPTAで管理されていますので、お問い合わせください。



防犯パトロール活動の基本的な心構えは、「**気楽に・気長に・危険なく**」です。

- ① 無理のない範囲で続けることが大切です。
- ② 自分のペースにあわせた見守り活動をお願いします。



緊急時には迷うことなく、110番通報をお願いします。



最近よく耳にするけど...

アポ電

アポ電強盗?

って何?

アポ電の「アポ」は「アポイントメント」のアポです。

アポ電は、面会などの約束などを電話ですることですが、近年、詐欺などで具体的な金額を要求する犯人からの本電話の前触れとなる不審電話(犯行予兆電話)のことをアポ電と呼んでいます。

- 親族や警察官を装って相手を信用させる・・・「だまし」
- 預貯金額を聞き出す・・・「さぐり」

などが該当します。



【アポ電強盗】

他県では、アポ電後の犯行が特殊詐欺から強盗へと移行し凶悪化しています。

詐欺の犯人が手口を切り替えるほか、始めから強盗目的でアポ電をかけてくる可能性もあります。

アポ電強盗は、大分県での発生はありませんが、細心の注意を払う必要があります。

アポ電の被害を防ぐには・・・



- ・自宅にいる時も、自宅の固定電話は留守番電話に設定する。
- ・通話録音機能などが付いた電話機を設置する。



電話に出てしまったら・・・



- ・お金がらみや個人情報(家族構成やキャッシュカードの暗証番号など)を聞かれたら、相手にしない! 電話を切る。
- ・家族や身近な人、警察に相談する。

お金(資産関係)のことや個人情報を話してしまったら・・・



- ・すぐに警察に通報する。迷わず通報を!

改元に便乗した詐欺にもご注意ください!

4月1日、新元号「令和」が発表されました。

これに伴い、改元に便乗した特殊詐欺などの犯罪被害が心配されています。

その内容とは、金融機関職員をかたり「改元に伴ってキャッシュカードが使えなくなる。作今すぐ手続きをしないと使えなくなる。」などと言い、犯人が自宅に来て暗証番号とともにキャッシュカードを持ち帰るものや、市役所職員をかたって「改元に伴い、還付金が発生した。」などと言うものです。

改元によるキャッシュカードの作り直しや還付金はありません。

もし、新元号とお金がらみ・個人情報がらみの電話やメールが来た時は、相手にせずに相談を!

